

科目名 (英)	導入教育	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	今井恭平
		授業形態	講義				
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	集中
講師紹介	<p>商社で営業職として勤務。営業で培った商談力、ビジネスマナーを活かし転職後は専門学校でキャリアセンターとして勤務。学生の就職支援と同時に企業に対してのセミナー・やリクレーターなど登壇経験も豊富で学生の成長に繋がるよう精進している。</p>						
目的	1年間で登録販売者試験に合格し、進路を決定できるように準備をする。						
科目概要	就職活動の流れを理解する。いつ、どんな準備をしたら良いかを知る。登録販売者試験の流れを理解する。						
到達目標	就職活動の流れを理解し、就職内定を獲得(進路を確定)する。登録販売者試験の流れを理解し合格スケジュールが立てられる。						
評価方法	<p>定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。</p> <p>■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()</p>						
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	授業後に各自で復習を実施すること。			
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	新入生オリエンテーション①	講義	学校生活のルールを知る。
2	新入生オリエンテーション②	講義	登録販売者試験の概要と学習のポイントを知る。
3	新入生オリエンテーション③	講義	学校生活のルールを知る。
4	面接指導ガイダンス	講義	企業の面接や特性を知る。
5	企業研究	講義	ドラッグストア企業で働くことのイメージを描くために、ドラッグストア企業の人事担当者を講師としてお招きした、業界ガイダンスをおこなう。
6	就活サイト説明登録会	講義	就職活動で必要となる、就活サイトの説明をうけ、登録する。マイナビの担当者様に、就職面接や活動のポイントを説明していただく。
7	入学式①	講義	登録販売者の資格取得とドラッグストア企業への就職の意欲を高める
8	入学式②	講義	進路選択に間違いがなかったと自信をもち、不安を解消することができる。

科目名 (英)	実習前後教育	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	今井恭平
		授業形態	講義	なし			
学科・コース	登録販売者学科	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
		単位	1			曜日/時間	集中
講師紹介	<p>商社で営業職として勤務。営業で培った商談力、ビジネスマナーを活かし転職後は専門学校でキャリアセンターとして勤務。学生の就職支援と同時に企業に対してのセミナー・やりクレーターなど登壇経験も豊富で学生の成長に繋がるよう精進している。</p>						
目的	<p>くすりアドバイザー実践演習(ドラッグストア現場アルバイト実習)で必要となる、実習生としての態度(身構え・気構え・心構え)を知る。</p>						
科目概要	<p>くすりアドバイザー実践演習(ドラッグストア現場アルバイト実習)で必要となる、実習生としての態度(身構え・気構え・心構え)を講義を通して知る。また、実際に勤務する店舗への挨拶をおこなう。さらに実習期間中に必要な、報告書等の提出物、課題について理解する。</p>						
到達目標	<p>くすりアドバイザー実践演習(ドラッグストア現場アルバイト実習)で必要となる、実習生としての態度(身構え・気構え・心構え)を知り、具体的な目標を立てる。また、実際に勤務する店舗への挨拶訪問のアポイントをとり、実際に訪問する。</p>						
評価方法	<p>定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 <input checked="" type="checkbox"/>筆記試験 <input type="checkbox"/>口頭試験 <input type="checkbox"/>実技試験 <input type="checkbox"/>その他()</p>						
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	くすりアドバイザー実践演習マニュアル、実習報告書、医薬品等に関するレポートで復習をおこなう。			
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	実習生としての身構え・気構え・心構え①	講義	ドラッグストアの店舗で実習生として必要な身構え・気構え・心構えを知る。
2	ビジネス能力	講義	社会人基礎力の向上としてビジネス全般を理解する
3	ビジネス能力	講義	社会人基礎力の向上としてビジネス全般を理解する
4	実習前実技試験	講義	アルバイト実習に必要な、身構え・気構え・心構えを確認する。
5	実習前実技試験	講義	アルバイト実習に必要な、社会人基礎力を確認する。
6	実習生としての身構え・気構え・心構え②	講義	ドラッグストアの店舗で実習生として必要な身構え・気構え・心構えを知る。
7	実習前筆記試験	講義	勤務先予定の店舗を訪問するため、勤務先企業をWEBサイト等の資料をつかって調べ、企業理念等を前もって理解する。
8	マニュアル説明会②	講義	実習期間中に必要な、報告書等の提出物、課題について理解する。

科目名 (英)	薬事関連法規・制度	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	成田佳祐
		授業形態	講義		有		
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	木曜2時限
講師紹介	成田佳祐:大学卒業後、ドラッグストアに就職し、調剤とOTCの両方の経験。現在は、調剤薬局で薬剤師として勤務する実務家教員である。現場での経験を活かし「イメージしやすい」をモットーに登録販売者試験合格に向けて、学生と一緒に成長できるよう努力している。						
目的	薬事関連法規・制度について説明できる。医薬品に関する法規を理解できる。医薬品に関する制度にはどのようなものがあるか説明できる。						
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(平成30年3月)」のうち、薬事関連法規・制度について学習するものである。登録販売者試験に合格できるよう、予習・復習をおこなってください。						
到達目標	薬事関連法規・制度について説明できる。医薬品に関する法規を理解できる。医薬品に関する制度にはどのようなものがあるか説明できる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト(じほう)			事前事後 学習と その内容	事前配信動画で予習をおこなう。授業後は教科書で復習を実施すること。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	薬機法の目的	講義	薬機法の目的を理解する。法律で規定される登録販売者という資格を理解する。医薬品はどのようなものを指すか定義を理解する。
2	医薬品の種類	講義	定義される医薬品のうち個別に確認。一般用医薬品、医療用医薬品、要指導医薬品、毒薬・劇薬、生物由来製品、一般用医薬品のリスク区分についてそれぞれ説明できる。
3	医薬部外品、化粧品、食品	講義	医薬品以外のもの、特に医薬部外品、化粧品、食品について理解する。健康増進法で規定される食品について学習。
4	医薬品販売業について	講義	医薬品を販売できる業態の許可の種類を説明できる。薬局、店舗販売業、配置販売業、卸売販売業について販売相手、他業態との違いを説明できる。
5	中間チェック		
6	リスク区分と情報提供、特定販売	講義	リスク区分に応じた情報提供と陳列について理解する。特定販売について説明でき、必要な注意ができる。
7	医薬品販売に関する法令遵守	講義	販売、広告に関する法令遵守、基準を説明でき、適正な販売につなげられる。行政庁の監視、指導について説明できる。
8	定期試験		

科目名 (英)	医薬品に共通する特性と基本的な知識	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	中村麻美
		授業形態	講義		有		
学科・コース	登録販売者学科	時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
		単位	1			曜日/時間	水曜1時限
講師紹介	滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。						
目的	登録販売者試験の1章の内容を理解し、医薬品に共通する特性と基本的な知識を身につける。						
科目概要	登録販売者試験の1章の内容。実際の試験は、このセクションから20問出題される。基本的な内容なので9割は点がとれる範囲。						
到達目標	医薬品の本質、効き目や安全性に影響を与える要因などについて理解する。購入者からの相談に対して、医療機関への受診勧奨などの適切な助言を行えるようになる。薬害の歴史を理解し、医薬品の本質などを踏まえた適切な販売ができるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 ■口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト			事前事後 学習と その内容	復習としてテキストを読んでおく テキスト確認問題を解く。配布した過去問をもう一度解いてみる。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	医薬品の本質	講義	医薬品の本質を理解する
2	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	講義	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因を理解する
3	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因を理解する	講義	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因を理解する
4	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	講義	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因を理解する
5	中間チェック		
6	適切な医薬品選択と受診勧奨	講義	適切な医薬品選択と受診勧奨を理解する
7	薬害の歴史	講義	薬害の歴史を理解する
8	定期試験		

科目名 (英)	人体の働きと医薬品	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	成田佳祐
		授業形態	講義		有	開講区分	
		時間数	45	授業回数	23		
学科・コース	登録販売者学科	単位	3			曜日/時間	木曜1・2限
講師紹介	成田佳祐:大学卒業後、ドラッグストアに就職し、調剤とOTCの両方の豊富な経験を持つ。現在は、調剤薬局で薬剤師として勤務している実務教員である。現場での経験を活かし「イメージしやすい」をモットーに登録販売者試験合格に向けて、学生と一緒に成長できるよう努力している。						
目的	人体の構造とその働き、薬が働く仕組みを説明できる。						
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(平成30年3月)」のうち、人体の働きと医薬品について学習するものである。						
到達目標	人体の構造とその働きについて説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト(じほう)			事前事後 学習と その内容	テキスト、動画、課題を中心に予習復習をおこなう。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官①	講義	消化器系①の構造と働きを理解する。
3・4	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官②	講義	消化器系②の構造と働きを理解する。
5・6	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官③	講義	呼吸器系、循環器系の構造と働きを理解する。
7・8	胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官④	講義	泌尿器系を理解する。
9・10	目、鼻、耳などの感覚器官	講義	目、鼻、耳の構造と働きを理解する。
11	中間チェック		
12・13	皮膚、骨、関節、筋肉などの運動器官	講義	外皮系、骨格系、筋組織の構造と働きを理解する。
14・15	脳や神経系の働き	講義	中枢神経系、末梢神経系の構造と働きを理解する。
16・17	薬の生体内運命	講義	薬が働く仕組みのうち、生体内運命について理解する。
18・19	薬の体内での働き	講義	薬が働く仕組みのうち、薬の体内での働きについて理解する。
20・21	剤形ごとの違い、適切な使用方法	講義	薬が働く仕組みのうち、剤形ごとの違い、適切な使用方法を理解する。
22	全身的、精神神経系、局所に現れる副作用	講義	ショック、重篤な皮膚粘膜障害、肝機能障害、偽アルドステロン症、病気等に対する抵抗力の低下等、精神神経障害、無菌性髄膜炎、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系、感覚器系、皮膚に現れる副作用を理解する。
23	定期試験		

科目名 (英)	主な医薬品とその作用	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	渡邊隆
		授業形態	講義		有		
学科・コース	登録販売者学科	時間数	60	授業回数	30	開講区分	前期
		単位	4			曜日/時間	火曜1,2時限
講師紹介	薬剤師としてドラッグストアに併設されている薬局に勤務し、調剤業務や服薬指導に携わる一方、一般用医薬品の販売も積極的におこない、登録販売者へのアドバイスをおこなっている、実務教員である。						
目的	主な医薬品とその作用、及び薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用への対処・対応が説明できる。						
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(平成30年3月)」のうち、主な医薬品とその作用について学習するものである。登録販売者試験に合格できるよう、動画による予習・復習をおこなってください。						
到達目標	主な医薬品とその作用について説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト(じほう)			事前事後 学習と その内容	テキストと配信動画、課題等を使用した予習復習を実施すること。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用①
3・4	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用②
5・6	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用③
7・8	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用④
9・10	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑤
11・12	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑥
13・14	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑦
15	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑧
16	中間チェック		
17・18	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑨
19・20	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑩
21・22	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑪
23・24	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑫
25・26	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑬
27・28	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑭
29	主な医薬品とその作用	講義	登録販売者試験対策 第3章主な医薬品とその作用⑮
30	定期試験		

科目名 (英)	医薬品の適正使用・安全対策	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	中村麻美
		授業形態	講義		有	開講区分	
		時間数	15	授業回数	8		
学科・コース	登録販売者学科	単位	1			曜日/時間	水曜2時限
講師紹介	滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。						
目的	副作用報告制度、副作用被害救済制度に関する基本的な知識を身につける。						
科目概要	副作用報告制度、副作用被害救済制度に関する基本的な知識を身につける。登録販売者試験の5章の内容。						
到達目標	医薬品の副作用等に関する厚生労働大臣への必要な報告が行えるようにする。医薬品を適正に使用したにもかかわらず、その副作用で重篤な健康被害が生じた購入者に、副作用被害救済の制度を紹介し、制度の仕組みや申請窓口等について説明できる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト			事前事後 学習と その内容	復習としてテキストを読んでおく テキスト確認問題を解く。配布した過去問をもう一度解いてみる。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の適正使用情報について理解する
2	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の適正使用情報について理解する
3	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の適正使用情報について理解する
4	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の適正使用情報について理解する
5	中間チェック		
6	医薬品の適正使用情報	講義	医薬品の適正使用情報について理解する
7	医薬品の安全対策	講義	医薬品の安全対策について理解する
8	定期試験		

科目名 (英)	ドラッグストア商品知識	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	中村麻美
		授業形態	講義				
		時間数	60	授業回数	30	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	4				曜日/時間
講師紹介	中村先生は、滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。						
目的	登録販売者試験の学習で学んだ医薬品の基礎知識を生かし、ドラッグストアでの接客や健康アドバイスにおいて、商品知識を増やすことで自信をもって対応できることを目指す。						
科目概要	医薬品、化粧品メーカーの担当者に授業を担当していただく。各メーカーの定番商品または最新商品の紹介をおこなう。						
到達目標	登録販売者ができるよりよい業務や接客を考え、くすりアドバイザー実践演習で実際に試行してみる。医薬品や健康食品に関する商品知識を身につける。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	毎回の実習での気付きを、報告書等に記録し振り返る。			
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	オリエンテーション	講義	ドラッグストア現場では、医薬品の基礎知識を基礎に、商品に関する知識やアドバイスが重要となり、接客での対応について、身構え気構え心構えの重要性を知る。
3・4	ドラッグストア商品知識①	講義	登録販売者試験で出題された、医薬品の成分などについて、実際の接客場面で多く遭遇する対応事例を学ぶ。
5・6	ドラッグストア商品知識②	講義	登録販売者試験で出題された、医薬品の成分などについて、実際の接客場面で多く遭遇する対応事例を学ぶ。
7・8	ドラッグストア商品知識③	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
9・10	ドラッグストア商品知識④	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
11・12	ドラッグストア商品知識⑤	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
13・14	ドラッグストア商品知識⑥	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
15・16	ドラッグストア商品知識⑦	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
17・18	ドラッグストア商品知識⑧	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
19・20	ドラッグストア商品知識⑨	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
21・22	ドラッグストア商品知識⑩	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
23・24	ドラッグストア商品知識⑪	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
25・26	ドラッグストア商品知識⑫	講義	医薬品、化粧品メーカーの最新商品や定番商品をご紹介いただき、実際に商品を手に取って、使用感や形状などを実感することができる。
27・28	ドラッグストア商品知識⑬	講義	メーカー様の商品説明を受けて、商品の概要を理解し、商品販売のポイント、使用上の注意事項を適切にアドバイスできるようレポートにまとめる。
29・30	ドラッグストア商品知識⑭	講義	自信をもって説明できる商品を増やし、お客様のニーズにより沿ったアドバイスができるよう、自身で設定した課題に取り組む。

科目名 (英)	調剤アシスタント演習	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	渡邊隆
		授業形態	演習				
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	2				曜日/時間
講師紹介	薬剤師としてドラッグストアに併設されている薬局に勤務し、調剤業務や服薬指導に携わる一方、一般用医薬品の販売も積極的におこない、登録販売者へのアドバイスをおこなっている、実務教員である。						
目的	薬局で薬剤師のアシスタントがどのようにおこなわれているかを知る。調剤報酬請求事務の仕組みを知る。						
科目概要	薬局で調剤業務のアシスタントをする上での注意すべき点が理解できる。調剤報酬請求事務の概要を学ぶ。						
到達目標	調剤業務のアシスタント業務や薬剤師のアシスタント業務の概要を理解できる。調剤報酬請求事務の概要を学び、調剤報酬請求事務の基本が身につく。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()						
教科書				事前事後 学習と その内容	授業の復習を毎回実施すること		
参考図書	特になし						
特記事項	特になし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	演習	授業概要を知る。
2	調剤アシスタント業務の基礎	演習	調剤薬局でおこなわれている業務を知る①
3	調剤アシスタント業務の基礎	演習	調剤薬局でおこなわれている業務を知る②
4	調剤アシスタント業務の基礎	演習	調剤アシスタント業務を知る①
5	調剤アシスタント業務の基礎	演習	調剤アシスタント業務を知る②
6	調剤アシスタント業務の注意点	演習	調剤アシスタント業務の注意点に気付くことができる
7	調剤アシスタント業務の注意点	演習	調剤アシスタント業務の注意点
8	中間チェック		
9	調剤報酬請求事務の基礎	演習	
10	調剤報酬請求事務の基礎	演習	
11	調剤報酬請求事務の基礎	演習	
12	まとめ	演習	
13	まとめ	演習	
14	まとめ	演習	
15	定期試験		

科目名 (英)	コスメ&スキンケアアドバイザー演習	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	大瀬 順子
		授業形態	演習		有		
学科・コース	登録販売者学科	時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
		単位	2			曜日/時間	11/26~2/4 火曜日1.2限
講師紹介	外資系化粧品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして実務。現在はフリーランスとしてファッションショーのバックステージやMV、CM、等のメイクに携わり、またイベントメイクアップアーティストとしても活動。						
目的	ヘアメイク実務経験のある講師から肌の知識やメイクアップによる効果、基礎知識・技術を学び、習得し実践出来るようになる。						
科目概要	ドラッグストアでのコスメ販売・接客に必要な美容の知識の習得						
到達目標	メイクアップに関する技術と知識を習得し、お客様のニーズを引き出しアドバイス出来るようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 □口頭試験 ■実技試験 □その他()						
教科書					事前事後 学習と その内容		
参考図書							
特記事項	メモを取れる端末やノート類、筆記用具 持参 授業毎の持ち物についてはコマシラバス要確認						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	メイクツール知識、メイクプロダクト種類	演習	ツールやプロダクトの知識・種類を学びハンドデモの見せ方やタッチアップマナーを身につける
2	顔型診断、骨格	演習	自分の骨格を知り、顔型を見極められるようになる
3	ゴールデンバランス	演習	顔のゴールデンバランスと各パーツのゴールデンバランスを知る
4	骨格補正、パーツ補正	演習	骨格の修正・補正、パーツの補正を学ぶ
5	イメージ別メイク フェミニン	演習	イメージ別メイクの特徴を理解し習得する
6	イメージ別メイク マニッシュ	演習	イメージ別メイクの特徴を理解し習得する
7	パーソナルカラーと配色	演習	パーソナルカラーと配色についての知識を身に付ける
8	中間テスト	演習	イメージ別とパーソナルカラーの知識を用いてメイクを施す
9	スキンケア知識と季節肌	演習	基礎のスキンケア知識を学び、季節の肌変化を知る スキンケアタッチアップ方法を学ぶ
10	季節メイク	演習	季節の肌変化・メイク方法を知りご提案のトークスキルを習得する
11	年齢肌、年齢別お悩み、筋肉	演習	老化による肌・顔(筋肉)の変化と肌悩みを知る
12	年齢別メイク	演習	年齢別のお悩みに対応するアドバイスとメイクスキルを習得する
13	国別メイクと化粧品	演習	近年トレンドの韓国・中国のコスメの違いと特徴を理解する
14	国別メイク 韓国、中国、日本	演習	韓国・中国・日本のメイクの違いと特徴を理解してメイクが出来るようになる
15	定期テスト	演習	課題のメイクを施す

科目名 (英)	接客心理学&接客技術	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	太田壘
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	2				曜日/時間
講師紹介	登録販売者資格取得後、大手ドラッグストア勤務を経て、登録販売者試験の試験対策講座の教材作成、講師を歴任している、豊富な経験を有する実務家教員である。						
目的	ドラッグストア店舗での医薬品接客力を向上させるため、心理学的アプローチから、顧客が安心して相談できる対応を知る。						
科目概要	接客心理学講座検定3級を目標として、その検定内容を学習する。そのことを通じてドラッグストア店舗での接客スキルを向上させる。						
到達目標	販売心理や顧客心理について理解できる。店舗での実践にいかせるように、実習店舗をイメージしながら学習ができる。そして実習店舗で実践する。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	接客心理検定テキスト		事前事後 学習と その内容	テキストを使用した、授業前後の予習、復習を実施すること。			
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	商品属性の研究①	講義	属性名と属性値、属性値の決定、誰でも知っている商品情報、属性値の決定、属性値を購買プロセスに組み込むことを理解する。
2	商品属性の研究②	講義	一律な属性値をストーリー化する、認知スキーマと属性値、認知バイアスとパナーム(フォアラー効果)、ニュールック心理学の販売における基礎知識、記憶について理解する。
3	情報とコミュニケーションの区分①	講義	正しい言葉遣い、情報とコミュニケーション、談話能力(Fact-Act)を理解する。
4	情報とコミュニケーションの区分②	講義	社会言語能力、方略的言語能力を理解する。
5	接客コミュニケーションテクニック①	講義	ポジティブハロー、単純接触の原理(ザイアンス効果)、初頭効果と近親効果、OATH理論、マズローの段階欲求説、コントラストをつける、価値基準が引っ張られる効果を理解する。
6	接客コミュニケーションテクニック②	講義	スウェイ、損失回避、コミットメント、価値基準先行、サービスと接客、接客距離、笑顔の接客、返報性と好意の法則について理解する。
7	接客コミュニケーションテクニック③	講義	ゲーミフィケーション、カクテルパーティ効果、カタルシス効果、小さい提案から始める、大きい提案から始める、アップセル、ダウンセル、クロスセルについて理解する。
8	中間チェック		
9	接客コミュニケーションテクニック④	講義	テンション・リダクション、バンドワゴン、ヒューリスティックバイアス、希少性の原理、空間心理・色彩心理、自己成熟、認知的不協和について理解する。
10	接客コミュニケーションテクニック⑤	講義	文脈効果、シャルバンティエ、ハード・トゥ・ゲット、フォールス・コンセンサス、ダブルバインド、ボディランゲージを理解する。
11	接客実習①	講義	総合感冒薬の接客技術について理解する①
12	接客実習②	講義	総合感冒薬の接客技術について理解す②
13	接客実習③	講義	解熱鎮痛剤の接客技術について理解する
14	接客実習④	講義	その他のカテゴリーの接客技術について理解する
15	定期試験		

科目名 (英)	企業インターンシップ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	今井 恭平
		授業形態	演習				
		時間数	300	授業回数		開講区分	後期
学科・コース	登録販売者学科	単位	20		曜日/時間	集中	

講師紹介	専門学校生の就職指導等を主に担当。企業インターンシップ生指導員・新卒社員向け企業講話。実習先での指導は、各企業店舗の従業員(登録販売者等)に委託する。
------	---

目的	小売・販売・接客業にて接客、接遇の現場を体験し、登録販売者試験の学習の過程で学んだ医薬品の知識・その他、接客技術やお客様とのコミュニケーション能力を高め、仕事のやりがいを感じ、自身をもって就職していくことを目的とする。
----	---

科目概要	小売・販売・接客業での体験を通して以下について学ぶ ・接客、接遇の重要性を学ぶ ・登録販売者試験の学習の過程で学んだ医薬品の知識を深める。
------	---

到達目標	店舗運営の概要を理解し、小売店接客・接遇を身に着ける。
------	-----------------------------

評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()
------	---

教科書	なし	事前事後 学習と その内容	毎月の報告書と医薬品レポートを課す。
参考図書	なし		
特記事項	なし		

授 業 計 画			
---------	--	--	--

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	(実習前教育)		
2	有償インターンシップ		各企業が設定するアルバイト賃金を支給していただくことで、責任感をもって仕事をする体験をする。
3	接客実務経験		登録販売者の管理者要件である、1920時間の実務(業務)経験となるアルバイト実習をおこなう。
4	報告書		毎月、勤務時間と勤務態度の振り返りをする報告書を提出。
5	医薬品レポート		医薬品の商品を40品目とりあげ、添付文書等を参考にしてレポートを作成する。
6	実習先訪問		教職員が実習先の店舗を訪問し、現地指導をおこなう。
7	実習指導者評価		毎月の報告書に実習指導者による評価をおこなう。
8	実習後教育		

科目名 (英)	登録販売者試験対策講座 I	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	渡邊隆
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	登録販売者学科	単位	2			曜日/時間	月曜1.2時限
講師紹介	薬科大学を卒業後、薬剤師として研究に従事し、その後に調剤併設型ドラッグストア店舗で勤務し、大学や専門学校での講師経験も経て現在に至る、実務家教員である。						
目的	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。						
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和4年3月)」のうち、主な医薬品とその作用について学習するものである。登録販売者試験に合格できるよう、動画による予習・復習をおこなってください。						
到達目標	主な医薬品とその作用について説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。人体の働きと医薬品の作用を関連付けて説明できる						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト(じほう)			事前事後 学習と その内容	配信動画を中心に、予習と復習を実施すること。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	オリエンテーション	講義	登録販売者試験の概要と登録販売者試験対策のオリエンテーション
3・4	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用①
5・6	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用②
7・8	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用③
9・10	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用④
11・12	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用⑤
13・14	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用⑥
15	登録販売者試験対策	講義	主な医薬品とその作用⑦

科目名 (英)	登録販売者試験対策講座Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	中村麻美、(成田佳祐)
		授業形態	講義	有			
学科・コース	登録販売者学科	時間数	90	授業回数	45	開講区分	前期
		単位	6			曜日/時間	金曜1.2時限
講師紹介	中村先生は、滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の基礎知識を習得する授業を行う。						
目的	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。						
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和4年3月)」に則って、医薬品に共通する特性と基礎知識、人体の働きと医薬品、主な医薬品とその作用、薬事関連法規制度、医薬品の適正使用安全対策について、試験対策授業をおこなう。						
到達目標	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト(じほう)			事前事後 学習と その内容	配信動画を中心に、予習と復習を実施すること。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用&安全対策①
3・4	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用&安全対策②
5・6	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用&安全対策③
7・8	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策④
9・10	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策⑤
11・12	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策⑥
13・14	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 医薬品に共通する特性と基礎知識、医薬品の適正使用と安全対策⑦
15・16	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 ポイント復習
17・18	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 ポイント復習
19・20	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 ポイント復習
21・22	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 ポイント復習
23・24	登録販売者試験対策	講義	模擬試験① 理解度判定テスト
25・26	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ
27・28	登録販売者試験対策	講義	模擬試験② 実力判定テスト
29・30	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ
31・32	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ
33・34	登録販売者試験対策	講義	模擬試験③ 実力判定テスト
35・36	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ
37・38	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ
39・40	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ
41・42	登録販売者試験対策	講義	模擬試験④ 実力判定テスト
43・44	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ
45	登録販売者試験対策	講義	登録販売者試験対策 まとめ

科目名 (英)	登録販売者試験対策講座Ⅲ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	渡邊隆、中村麻美
		授業形態	講義		有		
学科・コース	登録販売者学科	時間数	90	授業回数	45	開講区分	前期
		単位	6			曜日/時間	月曜・水曜1.2時限
講師紹介	渡邊先生は、薬剤師としてドラッグストアに併設されている薬局に勤務し、調剤業務や服薬指導に携わる一方、一般用医薬品の販売も積極的におこな い、登録販売者へのアドバイスをおこなっている、実務教員である。 中村先生は、滋慶学園グループ校を卒業後、登録販売者としてドラッグストアで医薬品・健康相談に従事している実務経験豊富な講師である。医薬品の 基礎知識を習得する授業を行う。						
目的	登録販売者試験に合格する学力を身につけるため、教科書の基本的な知識を定着させることを目的とする。						
科目概要	登録販売者試験で出題される、「試験問題の作成に関する手引き(令和4年3月)」のうち、主な医薬品とその作用、人体の働きと医薬品について学習する ものである。登録販売者試験に合格できるよう、動画による予習・復習をおこなってください。						
到達目標	主な医薬品とその作用について説明できる。薬が働く仕組みを説明できる。主な副作用にはどのようなものがあり、対処・対応が説明できる。人体の働き と医薬品の作用を関連付けて説明できる						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が 70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	登録販売者試験対策テキスト(じほう)			事前事後 学習と その内容	事前に配信予定の過去問題を解答しておくこと		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	登録販売者試験対策 過去問題解説①	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
3・4	登録販売者試験対策 過去問題解説②	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
5・6	登録販売者試験対策 過去問題解説③	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
7・8	登録販売者試験対策 過去問題解説④	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
9・10	登録販売者試験対策 過去問題解説④	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
11・12	登録販売者試験対策 過去問題解説④	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
13・14	登録販売者試験対策 過去問題解説⑤	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
15・16	登録販売者試験対策 過去問題解説⑥	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
17・18	登録販売者試験対策 過去問題解説⑦	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
19・20	登録販売者試験対策 過去問題解説⑧	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
21・22	登録販売者試験対策 過去問題解説⑨	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
23・24	登録販売者試験対策 過去問題解説⑩	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
25・26	登録販売者試験対策 過去問題解説⑫	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
27・28	登録販売者試験対策 過去問題解説⑬	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する
29・30	登録販売者試験対策 過去問題解説⑭	講義	登録販売者試験で過去に出題された問題を詳細に解説する